

DVD/CD DUPLICATOR

LDU-D401F

DVD/CDデュプリケータ

ユーザーズマニュアル

Logitec

ごあいさつ

この度は弊社DVD/CDデュプリケータをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はDVD/CDデュプリケータに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社DVD/CDデュプリケータによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROMソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft社の米国およびその他の国での登録商標です。FireWireはアップルコンピュータ社の登録商標です。i.LINKはソニー株式会社の商標です。Pentium®は米国Intel社の登録商標です。B's Recorder GOLDは株式会社ビー・エイチ・エーの商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

目次

ご使用の前に	4
取り扱い上の注意	4
使用上のご注意	8
付属品の確認	9
製品の特徴	10
使用可能なメディア	12
各部の名称	14
メディアのセット / 取り出しについて	17
デュプリケータ編	20
操作上の注意など	20
複製の手順	21
エラー内容一覧	24
補足事項	25
パソコン編	26
使用環境について	26
パソコンで使えるようになるまで	28
本製品の接続	28
接続結果の確認	30
ソフトウェアのインストール	31
B's Recorder GOLD BASIC について	33
おもな特徴	33
ユーザーズマニュアルの参照方法	34
起動と補助メニューについて	34
B's Recorder GOLD BASIC の使いかた	35
本製品を取り外す場合は	38
トラブルシューティング	40
デバイス名について	42
ハードウェア仕様	44

ご使用前に

取り扱い上の注意

必ずお読みください

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取り扱い上の注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

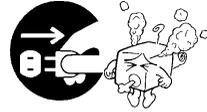
万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



⚠ 警告

万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



分解 / 改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



水場で使用しないでください

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を入れたりしないでください。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



⚠ 注意

電源コードのプラグはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



⚠ 注意

電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



本製品の稼動中に電源コード、ケーブル類を抜かないでください。データの損失、機器の故障の原因になります。



その他の
禁止事項

通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、ホコリの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



その他の
強制事項



注意

メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



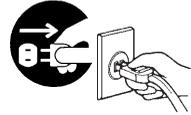
その他の
注意事項

電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」にしてください。



1・2・3・4・5

本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。違法なコピーは著作権法で固く禁じられています。絶対に行わないでください。



その他の
注意事項

使用上のご注意

- ・本製品を使用してパソコン上でDVDの記録、再生等を行うためにはパソコン本体にIEEE1394インターフェースが装備されている必要があります(DVD再生には別途ソフトウェアが必要です)
- ・市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- ・市販のDVDプレーヤーの中には、DVD-R、DVD-RWメディア、DVD+R、DVD+RWメディアに対応していないものもあります。
- ・DVDメディアにはラベルを貼付しないでください。

設置の際は...

本製品およびケーブル類の接続端子部分には触れないでください。(故障の原因になります)
本製品は横置きにて安定した場所に設置してください。水平方向には設置しないでください。

移動・輸送の際は...

本機を移動するときは、ディスクを取り出しトレイを閉じた後必ず本製品の電源をお切りください。
本機を移動や輸送するときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。

ご使用の際は...

トレイを出したまま放置しないでください。(内部にホコリが入り、故障の原因となります)
トレイには本製品で使用可能なメディア以外はセットしないでください。(故障の原因となります)
無理にトレイ部分を開けないでください。(故障の原因となります)
本機に磁石など磁気を持つものを近づけないでください。(磁気の影響で、動作が不安定になることがあります)
本製品が結露した状態で使用しないでください。
(寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、結露し、誤動作・故障の原因になります)
近くにあるテレビやラジオに雑音が入る時は、2m以上離すかコンセントを別にしてみてください。

レンズやメディアのお手入れの際は...

長時間使用すると、本製品のレンズやメディア側にほこりが付着して、正常に読み書きできなくなる恐れがあります。使用環境や使用回数によって異なりますが市販のレンズクリーナーやディスククリーナーなどを用いて、約1年に一度お手入れをすることをお勧めします。

本機表面のお手入れの際は...

汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤(中性)を布に浸し、よく絞ってからふいてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わないでください。

付属品の確認

ご使用前に以下の付属品が同梱されていることをご確認ください。

DVD/CDデュプリケータユニット	1 台
IEEE1394ケーブル (6ピン-6ピン: 約1m).....	1 本
IEEE1394ケーブル (6ピン-4ピン: 約1m).....	1 本
ソフトウェアCD-ROM (以下のソフトウェア含む)	1 枚
B's Recorder GOLD BASIC	
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚
DVD/CDデュプリケータユニット・ユーザーズマニュアル.....	本書
クイックガイド	1 枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

製品の特徴

本製品はDVDやCDを複製できるデュプリケータユニットです。パソコンに接続しなくても簡単にDVD/CDの複製が行えます。また、パソコンに接続してDVD ± R/RW ユニットとして使用することもできます。

量産前のサンプルとしてDVDやCDを少量ロットで生産したい場合や、イベントなどで撮影した映像データを配布する場合や、メディアに書き込まれた社内データを使用部署の数だけ複製したい場合などにとても便利です。

本製品の特徴

ディスクをセットするだけの簡単操作でDVD/CDの複製が行えます。書き込みメディアはDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、CD-R、CD-RWの6種類のメディアに対応しています。

DVD+R、DVD-Rメディアへ4倍速書き込みで書き込みを行った場合、4.7GBのDVDを約15分で複製します。また、CD-Rメディアへ16倍速書き込みを行った場合には、80分の音楽CD(700MB)を約5分で複製します。

デュプリケータモード時にも、モード設定ボタンで書き込み速度を最大3段階(高速/中速/低速)に設定を変更することができます。

書き込みメディアが対応する速度を超えて動作するものではありません。
Video CDの複製を行う場合は、中速または低速モードで使用してください。

もちろんパソコンにも接続可能ですので、複製元となるマスターディスクの作成に活用できます。付属のDVD/CDライティングソフトウェア「B's Recorder GOLD BASIC」を使用してDVD-Video(要イメージデータ)や音楽CDが作成できます。

IEEE 1394ポートでパソコンと接続すると、本製品がDVD ± R/RWドライブ、およびDVD-ROMドライブとして使用できます。



ご注意

- ・全てのメディアの複製を保証するものではありません。複製が行えないメディアがあることをご承知おきください。
 - ・本製品で作成したDVD/CDメディアは、全てのDVD/CDプレーヤ、DVD/CDレコーダ、DVD/CDドライブ等での再生、読み込みを保証するものではありません。
 - ・市販のDVD、オーディオCD等は著作権法の保護を受けています。著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。
違法なコピーは著作権法で固く禁じられています。絶対に行わないでください。
-



参考

IEEE1394 はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがあります。すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアおよび弊社ホームページで紹介しているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< DVD-R メディア >

パイオニア(株) 三菱化学(株) 太陽誘電(株) 富士写真フィルム

DVD-R メディアへの4倍速書き込みには、高速記録対応DVD-Rメディアが必要です。

< DVD-RW メディア >

パイオニア(株) 三菱化学(株) 日本ビクター(株)
TDK (株)

DVD-RW メディアへの2倍速書き込みには、高速記録対応DVD-RWメディアが必要です。

< DVD+R メディア >

太陽誘電(株) (株)リコー 三菱化学(株)

DVD+R メディアへの4倍速書き込みには、高速記録対応DVD+Rメディアが必要です。

< DVD+RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) TDK (株)

< CD-R メディア >

太陽誘電(株)「That's シリーズ」(株)リコー TDK (株)
三井化学(株) 三菱化学(株) 日立マクセル(株) 富士写真フィルム

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) TDK (株)

書き込みの際には、書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。ただしUltra Speed CD-RWメディアには未対応です。

DVDメディアにはラベルやシール等を貼付しないでください。

使用可能なメディア

読み込みメディア

本製品では以下のメディアの読み込みに対応しています。

メディア名	備考
DVD- Video	DVDプレーヤなどで再生できる映像を記録したDVDディスクです。
DVD- Audio	DVDオーディオ対応プレーヤなどで再生できる高音質な音楽を記録したDVDディスクです。
DVD- ROM	パソコンなどのデータを記録した DVD ディスクです。
DVD+R	一度だけ書き込みが可能なDVDディスクです。 いったん書き込んだデータは 消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
DVD+RW	書き込みや書き換えが可能なDVDディスクです。 (約1,000回の書き換えに対応しています。)
DVD-R	一度だけ書き込みが可能なDVDディスクです。 いったん書き込んだデータは 消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
DVD-RW	書き込みや書き換えが可能なDVDディスクです。 (約1,000回の書き換えに対応しています。)
Video- CD	ビデオ CD プレーヤやDVDプレーヤなどで再生できる映像を記録したCD ディスクです。
CD- DA (Audio CD)	CDプレーヤなどで 再生できる 音楽CDです。
CD- TEXT	音楽CDにアルバムタイトルや、曲名、アーティスト名などの文字情報を記録したCD ディスクです。
CD- ROM	パソコンなどのデータを記録した CD ディスクです。
CD- EXTRA (CD PLUS)	最初のセッションに音楽CDと同じ音楽データ、次のセッションにパソコン用のデータを記録したCDです。
CD- R	一度だけ書き込みが可能なCD ディスクです。 いったん書き込んだデータは 消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
CD- RW	書き込み、書き換えが可能なCD ディスクです。

書き込みメディア

本製品では以下のメディアへの書き込みに対応しています。

メディア名	容量	書き込み速度
DVD+R (Ver 1.0 & 1.1)	4.7GB	4 倍速 / 2.4 倍速
DVD+RW (Ver 1.1 & 1.2)	4.7GB	2.4 倍速
DVD-R for General Ver.2.0	4.7GB	4 倍速 / 2 倍速 / 1 倍速
DVD-RW Ver. 1.0 & 1.1	4.7GB	2 倍速 / 1 倍速
CD- R	700MB / 650 MB	16 倍速 / 12 倍速 / 8 倍速 / 4倍速
CD- RW High- Speed CD- RW	700MB / 650 MB	10 倍速 / 4 倍速



ご注意

- ・ DVD-RAM、DDCD (Double Density CD)、HD-BURN、SACD (Super Audio CD) には対応しておりません。
- ・ DVD-R for Authoring、Ultra Speed CD-RW への書き込みには対応しておりません。

各部の名称

本製品前面（表示ランプ除く）

Point

ポイント

このページで説明する項目はすべてDVD ± R/RWドライブ用と、DVD-ROMドライブ用の2つがあります。

強制イジェクトホール

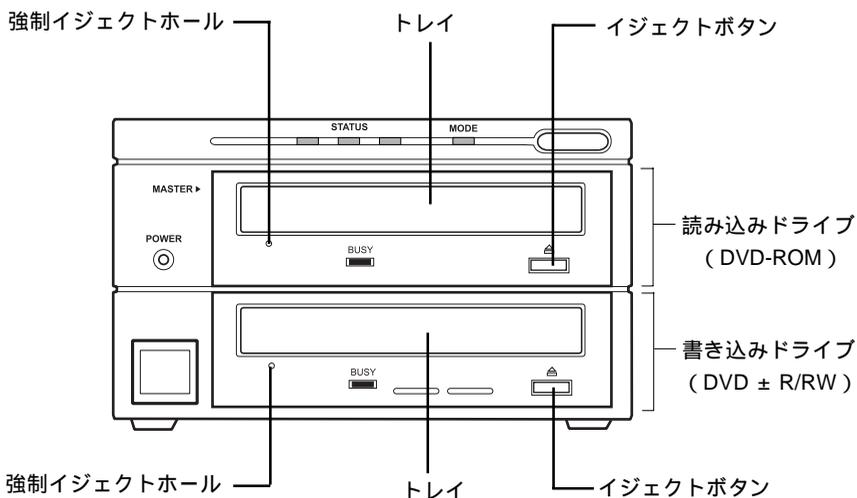
何かの原因でイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなった場合に使用します。詳細は「メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

トレイ

メディアをセットする部分です。書き込みを行うメディアは必ず下側の書き込みドライブ（DVD ± R/RWドライブ）にセットしてください。セット方法については「メディアのセット/取り出しについて」（17ページ）をご参照ください。

イジェクトボタン

このボタンを押すとトレイを排出することができます。



本製品表示ランプ

電源表示ランプ

本製品の電源が ON になると点灯します。

ステータス表示ランプ

作業の進行状況や、エラーが発生した場合の内容を表示します。

モード表示ランプ (デュプリケータモード時のみ使用)

本製品の動作モードを表示します。

高速モード：緑色点灯

中速モード：橙色点灯

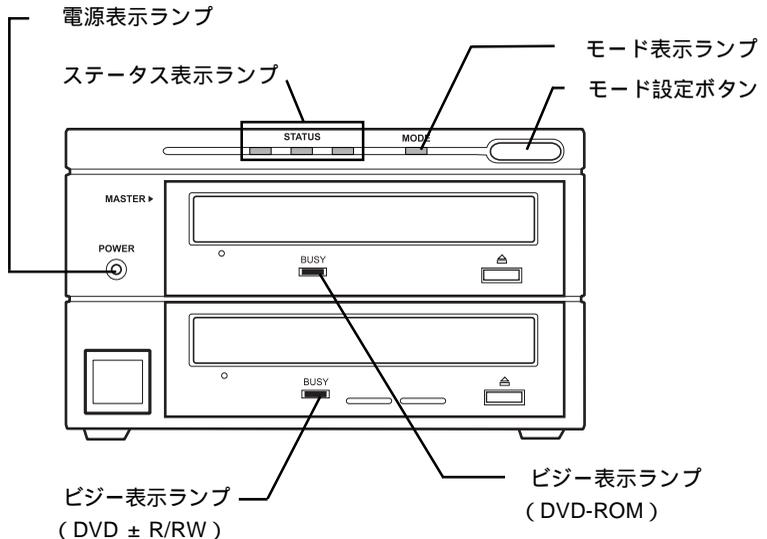
低速モード：赤色点灯

モード設定ボタン (デュプリケータモード時のみ使用)

本製品の動作モードを変更するボタンです。

ビジー表示ランプ

対応するドライブにセットしたメディアへのアクセス時に点灯します。



本製品背面

IEEE1394 コネクタ 6 ピン × 2

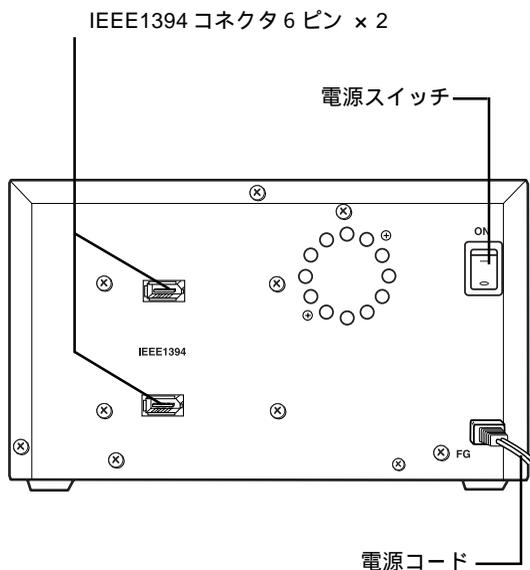
本製品付属ケーブルでパソコン本体（IEEE1394 ポート）と接続します。接続にはどちらのコネクタを使用してもかまいません。パソコン本体と接続しなかったほうのコネクタは、IEEE1394 機器の増設時に使用します。

電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。

電源コード

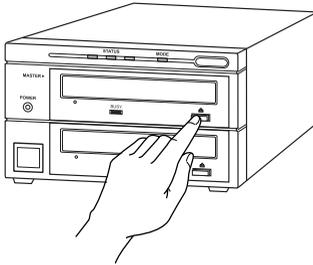
AC100V のコンセントに接続します。



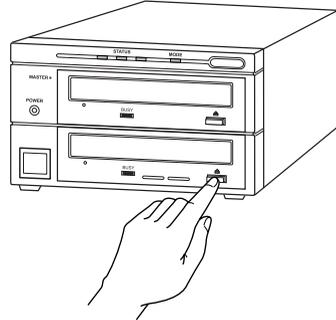
メディアのセット / 取り出しについて

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態で、イジェクトボタンを押してください。

読み込みドライブの場合
(DVD-ROMドライブ)

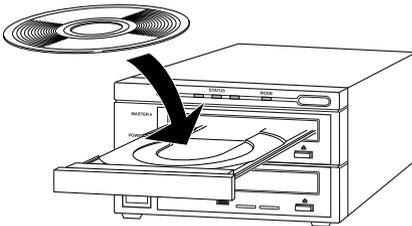


書き込みドライブの場合
(DVD ± R/RWドライブ)

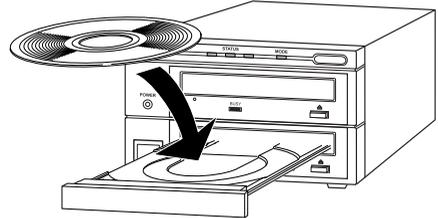


トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

読み込みドライブの場合
(DVD-ROMドライブ)



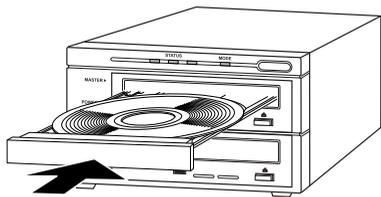
書き込みドライブの場合
(DVD ± R/RWドライブ)



メディアのセット/取り出しについて

イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

読み込みドライブの場合
(DVD-ROMドライブ)



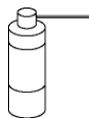
書き込みドライブの場合
(DVD ± R/RWドライブ)



メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出してください。

ご注意

- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナーでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。
- ・DVDメディアにはラベルなどを貼り付けしないでください。



ダストクリーナー

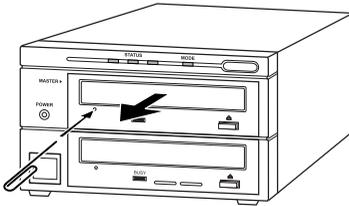
メディアが取り出せなくなった場合

何かの原因で本製品のイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまった場合は、まず本製品のビジー表示ランプが点灯していないかをチェックしてください。点灯していない場合には、本製品の電源を入れ直してみてください。それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制排出することができます。これを行なうときには、必ず本製品の電源をOFFにしてください。

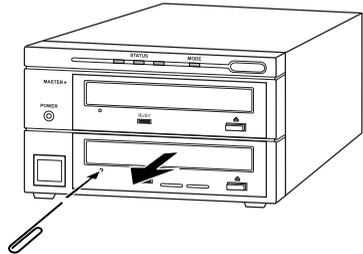
大き目のクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押ししてください。

トレイが2～3 cm ほど排出されますので、静かに引き出してください。

読み込みドライブの場合 (DVD-ROMドライブ)



書き込みドライブの場合 (DVD ± R/RWドライブ)



ご注意

本製品の電源がONになっている状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。

デュプリケータ編

ここでは、本製品単独で DVD/CD の複製を行う方法についてご説明いたします。

操作上の注意など

デュプリケータとして使用するときにはパソコンにつながらない。

パソコンに接続すると、モード表示ランプが消灯し、PCモードによる動作となります。

パソコンから取り外して使用するときには、いったん電源を切る。

PCモードからデュプリケータモードへ切り替えるときは必ずパソコンから取り外し、本製品の電源をいったん OFF にした後、5 秒以上たってから電源を ON にしてください。電源を切らずに、モード設定ボタンを押しても切り替わりません。

電源を入れた後、15 秒ほど待ってから操作をはじめます。

デュプリケータとして使用するときには、本製品の電源をいれてから初期動作に約 15 秒ほどかかります。この間は操作を行わないでください。

複製元のディスクと同じ種類のメディアを使用する。

DVD から CD、CD から DVD 等、異なる規格のメディアへの複製は行えません。

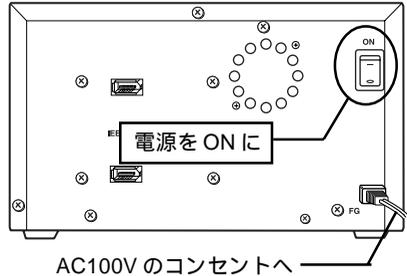
その他

- ・著作権保護機能 (CSS、CPPM、CRPM 等) やコピー防止機能 (COPY CONTROL CD 等) が付加されているメディアは複製できません。

複製の手順

1

本製品の背面の電源コードをAC100Vのコンセントに接続して、電源スイッチをONにしてください。

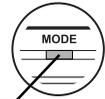


ご注意

デュプリケータモードとして使用するときには、パソコンと接続しないでください。パソコンに接続すると、モード表示ランプが消灯し、PCモードとして動作するようになります。PCモードからデュプリケータモードに戻す場合には、電源をいったんOFFにして、再度ONにする必要があります。

2

前面のモード表示ランプが緑色に点灯します。初期動作が行われますので、15秒ほどお待ちください。



緑色に点灯

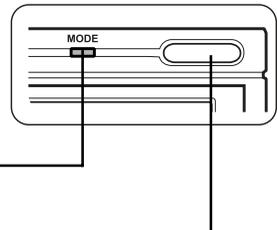
3

書き込みモードの設定を行う場合は、前面のモード設定ボタンを押して速度を変更してください。

書き込みモードの設定はモード表示ランプの点灯色により確認できます。

緑色	: 高速
橙色	: 中速
赤色	: 低速

上記モードに対応する各メディアの書き込み速度は「補足事項」をご参照ください。

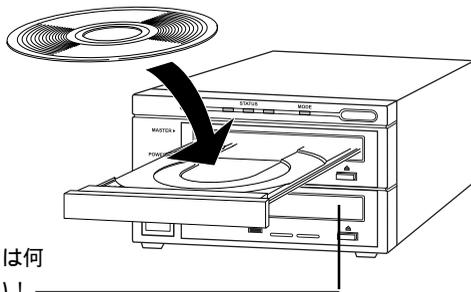


このボタンを押して書き込みモードの設定を変更します。

デュプリケータモードでは、電源投入後は常に高速書き込みに設定されています。そのままの設定でご使用になる場合は、ここでは何も行わず、手順へお進みください。ただし、Video CDの複製を行う場合や高速書き込みがうまく行かない場合などは、書き込みモードを中速または低速に設定してください。

4

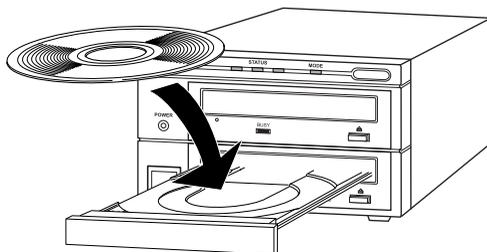
読み込みドライブのイジェクトボタンを押してトレイを排出させ複製するマスターディスクをセットして、イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込み、トレイを格納してください。



まだ、書き込みドライブには何もセットしないでください！

5

書き込みドライブのイジェクトボタンを押してトレイを排出させ、書き込みメディアをセットして、イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込み、トレイを格納してください。



ご注意

- ・ DVD+RW、DVD-RW、CD-RW 等のリライタブルメディア（データの書き換えが可能なメディア）を使用する場合、重要なデータなどがメディアに記録されていないことを事前にご確認ください。デュプリケータモードでは、リライタブルメディアがセットされると、メディア内のデータを全て消去して、マスターディスクの複製を行います。
- ・ 書き込みメディアは、マスターディスクと同じ規格のものをご使用ください。DVD から CD、CD から DVD 等、異なる規格のメディアへの複製は行えません。

6

自動的に複製が開始されます。

複製中は、ステータス表示ランプで進行状況を確認できます。

- ・ 緑色に点滅をしている場合、データが転送中であることを表します。(進行状況にあわせて点滅する場所が左から順に移動してゆきます)
- ・ 点滅が左側から順に点灯に変わってゆくことで、全体の進行状況を表します。

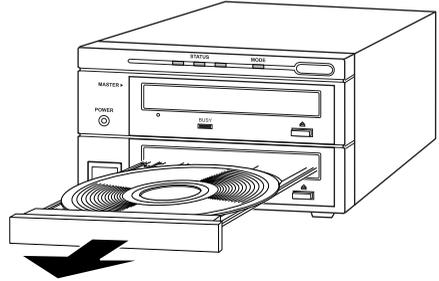
Point

ポイント

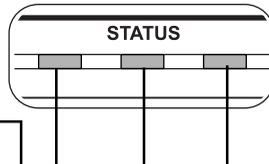
複製中にステータス表示ランプの点滅が停止することがありますが、しばらくしてまた、点滅をはじめたら問題ありません。そのまま複製を続けてください。

7

書き込みメディアが排出されたら、複製は完了です。



複製結果はステータス表示ランプで確認できます。正常終了した場合は緑色に点灯し、失敗した場合は赤色に点灯します。

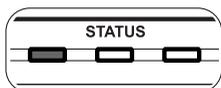


正常終了時は全て緑色に点灯します。
異常終了した場合は、エラー内容に応じてそれぞれのランプが赤色に点灯します。
エラー内容については次の「エラー内容一覧」をご参照ください。

以上で複製は完了です。続けて複製を行う場合は、手順 からの作業を繰り返してください。

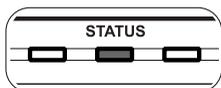
エラー内容一覧

複製時にエラーが発生すると、ドライブからメディアが排出され、ステータス表示ランプが以下のように赤色で点灯します。



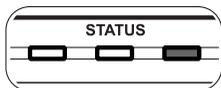
読み込みエラー

マスターディスクが読み込みできません。読み込みドライブにメディアが正しくセットされているかご確認ください。
また、マスターディスクに汚れが付着していないか、トレイに塵埃が付着していないかを確認し、クリーニング等を行っててください。



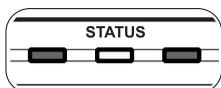
書き込みエラー

書き込みメディアに書き込みができません。
メディア不良の可能性も考えられます。
書き込みモードを遅くすることで書き込みできる場合もあります。



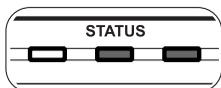
著作権保護エラー

著作権保護機能（CSS、CPPM、CPRMなど）が付加されているディスクを複製しようとしていませんか？本製品では著作権保護機能が付加されているディスクは複製できません。



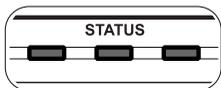
書き込みメディアのメディアエラー

- ・書き込みドライブにセットされているメディアは書き込みができないメディアである可能性があります。
- ・マスターディスクと異なる種類のメディアに書き込みを行おうとしていませんか？



マスターディスクのメディアエラー

- ・マスターディスクの容量が書き込みメディアの容量を越えている可能性があります。



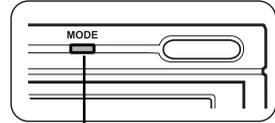
その他のエラー

上記エラー以外のエラー

補足事項

書き込みモードの設定

モード設定ボタンで「高速」「中速」「低速」の各設定を行った場合、それぞれのメディアの書き込み速度は、下表のようになります。



モード表示ランプ
このランプで確認

書き込み メディア	書き込みモード (モード表示ランプ)		
	高速 (緑色)	中速 (橙色)	低速 (赤色)
DVD- R	4 倍速	2 倍速	1 倍速
DVD- RW	2 倍速	1 倍速	
DVD+ R	4 倍速	2.4 倍速	
DVD+ RW	2.4 倍速		
CD- R	16 倍速	8 倍速	4 倍速
CD- RW	10 倍速	4 倍速	

対応フォーマット

本製品は以下のフォーマットに対応しています。

DVD	DVD- Video、DVD- Audio、UDF、UDF Bridge DVD- ROM DVD- R DVD- RW DVD+ R DVD+ RW
CD	Video CD、ISO 9660、Apple ISO、Apple HFS Hybrid CD (ISO 9660 & Apple HFS) CD- DA (Audio CD) CD- TEXT CD- ROM Mode 1 CD- ROM XA Mode 2 (from 1、 from 2) CD- EXTRA (CD PLUS) CD- R CD- RW

パソコン編

パソコンに接続して使用する場合（PCモード）、書き込みドライブを使用して対応メディアへの書き込みが行えます。また、マスターディスクを読み込みドライブにセットし、書き込みメディアをDVD ± R/RWドライブにセットすることにより、メディアの複製も行うことができます。いずれの書き込みも付属のソフトウェア「B's Recorder GOLD BASIC」を使用して行います。

ここでは、本製品の使用環境、パソコンへの接続・取り外し方法、ソフトウェアのインストール方法、簡単なソフトウェアの使用方法などについてご説明いたします。

使用環境について

本節では本製品をパソコンに接続して使用する場合に必要なシステム環境（パソコン本体、メディアなど）の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

本製品は各社のDOS/Vパソコン、およびNEC PC98-NXシリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

IEEE1394ポートを搭載していること。

Pentium 以上のCPUを搭載していること。

128MB以上のメモリを搭載していること。

ハードディスクに5GB以上の空き容量があること（20GB以上を推奨）、（CD-R、CD-RWへの書き込みを行う場合は800MB以上）

できるだけ高速なCPU / 大容量メモリ / 大容量HDドライブを搭載した環境での使用を推奨します。

対応OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

Windows XP HomeEdition/Professional

Windows Me

Windows 2000 Professional

最新の情報については弊社ホームページをご参照ください。



ご注意

- ・ 当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

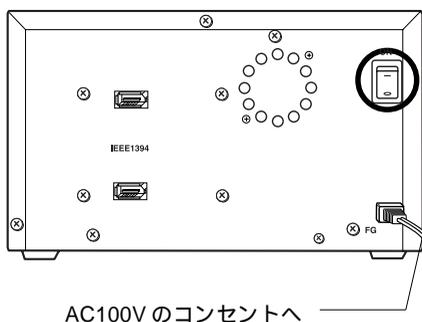
- ・ 本製品で作成する DVD ビデオのリージョンコードは ALL となります。また、本製品はフェーズ 2 仕様のドライブであるため、本製品で再生できる DVD ビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。

パソコンで使えるようになるまで

本製品の接続

本製品の接続は以下の手順で行います。

最初に本製品の電源コードを AC100V のコンセントに接続して、電源スイッチを ON にします。

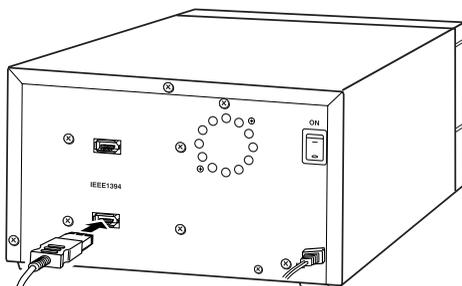


ご注意

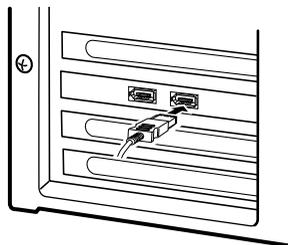
- ・接続の際、必ずはじめに本製品の電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
 - ・本製品を安定して動作させるためには、パソコン本体の IEEE1394 ポートに接続してください。
 - ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
-

本製品に付属の IEEE1394 ケーブルを接続します。付属の IEEE1394 ケーブルは 6 ピン - 6 ピンタイプのもの、6 ピン - 4 ピンタイプのものがありますが、どちらを使用しても構いません。ただし、パソコン本体の IEEE1394 ポートが 4 ピンの場合は 6 ピン - 4 ピンタイプのケーブルをご使用ください。

また、本製品背面には IEEE1394 コネクタが 2 個ありますが、どちらに接続しても構いません。(ここで使用しないコネクタを使用して、IEEE1394 機器の増設を行うことが可能です。増設を行わない場合は、開いたままの状態でも構いません)



IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE1394 ポートに接続してください。



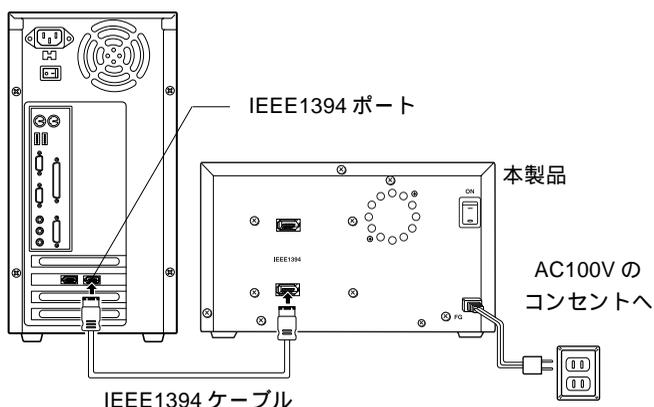
ご注意

複数の IEEE1394 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのは止めてください。トラブルの原因となります。

パソコンで使えるようになるまで

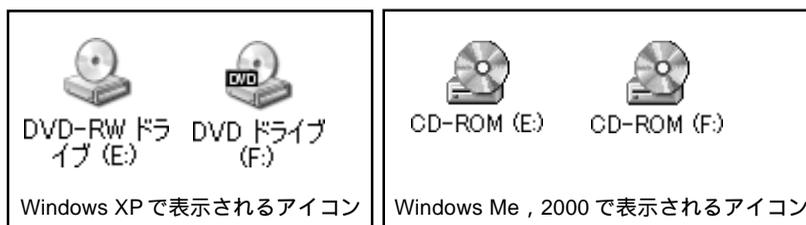
本製品の接続

以上で接続は終了です。全体の接続図は以下のようになります。



接続結果の確認

接続後、2つのドライブが自動的に認識されます。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、以下の2つのアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。



アイコンが新しく登録されない場合は、「トラブルシューティング」(40ページ)に従ってチェックを行ってください。

次に付属のソフトウェアをインストールしてDVD+R/+RW、DVD-R/RWメディアへの書き込みの準備をします。次ページ「ソフトウェアのインストール」へお進みください。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアインストールの前に本書2ページの「ソフトウェア使用権許諾契約書」をお読みください。許諾内容に合意される場合のみ、付属の各ソフトウェアをご使用いただけます。なお、インストールされた場合は許諾内容に合意されたものとさせていただきます。

インストールの際のご注意

Windows XP、2000 をご使用の場合は、管理者権限のあるユーザー（たとえば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ等）としてコンピュータにログオンしてください。

1. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. 自動的にセットアップランチャーが表示されます。「B's Recorder GOLD BASIC」と書かれたボタンをクリックしてください。



このボタンをクリック

ここでセットアップランチャーが自動的に起動しない場合は、「マイコンピュータ」を開き、セットした CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。



Recorder
GOLD (G)

CD-ROMのアイコンをダブルクリックしてもセットアップランチャーが起動せず、CD-ROMの内容が表示された場合は、一覧の中から「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックします。



パソコンで使えるようになるまで ソフトウェアのインストール

インストールウィザードが起動します。「次へ」をクリックしてください。



「次へ」をクリック

この後は画面の指示に従い、インストールを進めてください。

インストールの最後に以下の画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して「完了」ボタンをクリックしてください。



「完了」をクリック

以上で「B's Recorder GOLD BASIC」のインストールは終了です。再起動後、ソフトウェアが使用可能になります。

B's Recorder GOLD BASIC について

本製品付属の「B's Recorder GOLD BASIC」はオリジナルDVDやCDの作成、DVDやCDのバックアップ用途に最適なソフトウェアです。データの登録から書き込みまでの作業が画面で完結する「ウィザード機能」で、簡単にDVDやCDを作ることができます。ソフトウェアには以下のような特徴があります。

おもな特徴

ウィザード機能

起動時に表示されるウィザード機能に従って操作を行えば、初心者でも簡単にDVD/CDを作成できます。

オリジナル音楽CDの作成

音楽CDやWAVファイル、MP3/TwinVQなどからお気に入りの曲を集めて、オリジナルの音楽CDを作成できます。

PCデータの書き込み

DVD-ROM互換のPCデータの書き込みが可能です。DVD+R、DVD-Rメディアの場合には、データの改ざんができない特性を生かして、重要なデータの保存にも活用できます。また、追記書き込みに対応(1)しているので、メディアの容量を最大限に使用できます。DVD-RW、DVD+RWメディアの場合には、書き込んだデータを一旦消去することにより、再度書き込みを行うことができます。

DVD/CDのコピー機能

簡単な設定でCDやDVDをまるごとコピーすることができます。また、HDDバックアップ機能も備えておりますので、ウィザードに従って操作を進めるだけで大容量HDDも簡単にバックアップできます。

HighMAT形式CDの作成に対応

「HighMAT (High-Performance Media Access Technology)」とは、パソコンで使用されている圧縮音楽ファイルや静止画、動画ファイルなどをDVDプレーヤーなどの家庭用AV機器でも再生できるようにした規格です。B's Recorder GOLD BASICでは、このHighMATに準拠したCDを作成できます。HighMAT CDは、パソコンで再生できるのももちろんのこと、対応プレーヤーを使用することでメニューを使用した再生が行えます。

HighMAT形式で書き込みをおこなったCD-R/RWメディアをパソコンで再生するためにはHighMAT形式の再生がおこなえるプレーヤーがインストールされている必要があります。

再生させるプレーヤーによっては、本アプリケーションで作成したメニュー等の配置が若干異なる場合がございます。

ユーザーズマニュアルの参照方法

ユーザーズマニュアルを参照するには、B's Recorder GOLD BASIC インストール後に、「スタート」「プログラム」(Windows XP の場合は全てのプログラム)「B.H.A」「B's Recorder GOLD BASIC」「DOC」「ユーザーズマニュアル」と選択します。



起動と補助メニューについて

B's Recorder GOLD BASIC を起動するには、「スタート」「プログラム」(Windows XP の場合は全てのプログラム)「B.H.A」「B's Recorder GOLD BASIC」「B's Recorder GOLD BASIC」と選択するか、インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。



B's Recorder GOLD BASIC は起動時に、下のような補助メニューが表示されます。補助メニュー内の各ボタンをクリックすると以下のような機能を簡単な操作で使用することができます。



データボタン：データDVD/CDを作成する場合、このボタンをクリックします。

音楽CDボタン：リッピング機能を使用して取り込んだ音声のデータを音楽CDとしてメディアに書き込む場合、このボタンをクリックします。

ビデオCDボタン：ビデオCDを作成する場合、このボタンをクリックします。

コピーボタン：DVD/CDをまるごとコピーする場合、このボタンをクリックします。

リッピングボタン：音楽CD等のデータをWAVファイルやMP3、TwinVQファイルとしてパソコンに取り込む場合、このボタンをクリックします。

HighMATボタン：HighMAT形式のCDを作成する場合はこのボタンをクリックします。

B's Recorder GOLD BASIC の使いかた

ここでは「B's Recorder GOLD BASIC」を使用して、データDVD/CDを作成する手順とDVD/CDをまるごとコピーする手順について簡単にご紹介します。なお、「B's Recorder GOLD BASIC」の詳しい使用方法につきましては、「B's Recorder GOLD BASIC」のユーザーズマニュアルをご参照ください。

書き込み先のドライブの設定

どのような書き込みを行う場合でも、「B's Recorder GOLD BASIC」を起動したら、はじめに以下の手順で、本製品の書き込みドライブを「使用中のドライブ」に設定しておいてください。

「B's Recorder GOLD BASIC」起動後に表示される補助メニューから、「環境設定」ボタンをクリックしてください。



このボタンをクリック

環境設定のプロパティウィンドウで、「ドライブ設定」タブを選択して、「使用中のドライブ」欄で書き込みドライブのドライブ名「DVD-RW DVR-106D」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



「ドライブ設定」タブを選択

「DVD-RW DVR-106D」を選択

「OK」をクリック

以上で、設定は終了です。

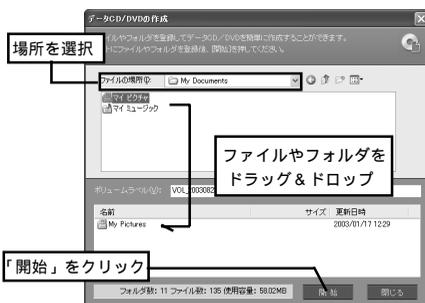
データDVD/CDの作成手順

「B's Recorder GOLD BASIC」を起動し、表示される補助メニューから、「データ」ボタンをクリックしてください。



このボタンをクリック

「データCD/DVDの作成」ウィンドウが表示されますので、「ファイルの場所」で書き込みを行いたいデータがある場所を選択し、表示される一覧から、ファイルまたはフォルダを選択し、下のリストにドラッグ&ドロップして、「開始」ボタンをクリックしてください。



場所を選択

ファイルやフォルダをドラッグ&ドロップ

「開始」をクリック

リストには複数のファイル・フォルダを別々の場所から登録することができます。

以下のウィンドウが表示されます。本製品の書き込みドライブにメディアをセットしてください。

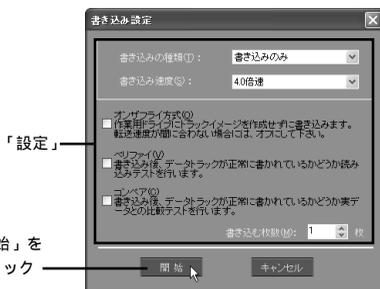


次ページへ進む

DVD-R メディアなど、書き換えができないメディアをセットすると以下のようなメッセージが表示されます。「互換性を重視し追記不可能な状態で書き込む」を選択することを勧めます。



「書き込み設定」ウィンドウが表示されます。ウィンドウ内の説明を参照して必要な設定を行い、「開始」ボタンをクリックしてください。



書き込みが始まります。書き込み中は以下のウィンドウに進行状況が表示され、正常に終了すると「正常に終了しました。」と表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



以上でデータ DVD/CD の作成は終了です。

DVD/CD のコピー手順

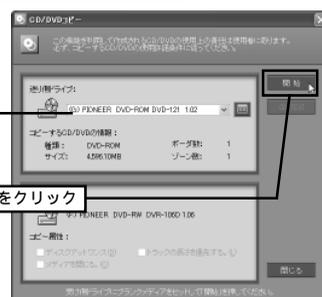
あらかじめ本製品の DVD-ROM ドライブにコピーするメディアをセットしておきます。

「B's Recorder GOLD BASIC」を起動し、表示される補助メニューから、「コピー」ボタンをクリックしてください。

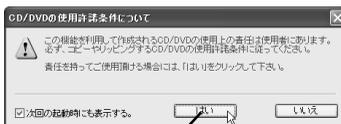


以下のウィンドウが表示されるので、送り側ドライブに本製品の読み込みドライブのドライブ名「PIONEER DVD-ROM DVD-121」を指定して開始ボタンをクリックしてください。

1. 「PIONEER DVD-ROM DVD-121」を指定



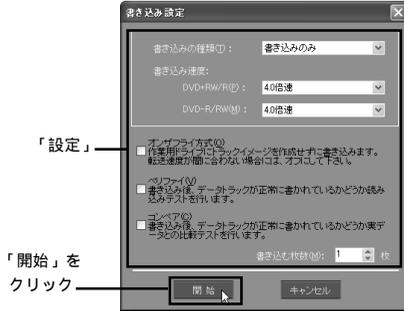
コピーを行うメディアが法律上の制限事項に触れないことをよくご確認ください。



問題がなければ「はい」をクリック

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。違法なコピーは著作権法で固く禁じられています。絶対に行わないでください。

「書き込み設定」ウィンドウが表示されます。ウィンドウ内の説明を参照して必要な設定を行い、「開始」ボタンをクリックしてください。



イメージファイルの作成が始まり、作成中は以下のような進行状況が表示されます。



上のウィンドウは、オンザフライ方式で書き込みを行う場合は表示されません。

以下のウィンドウが表示されます。本製品の書き込みドライブ側に、書き込みを行うメディアをセットしてください。



書き込みが始まります。書き込み中は以下のウィンドウに進行状況が表示されます。



正常に終了すると以下の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



手順 で、複数のメディアに書き込みを行うよう指定した場合は、上の画面が表示されず手順 の画面に戻ります。新しく書き込みを行うメディアをセットしてください。指定した枚数分、書き込みが終わるたびに手順 のメッセージへ戻るのとそのつどメディアをセットしてください。全ての書き込みが終わると、手順 の画面が表示されます。

以上でDVD/CDのコピーは終了です。

本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・ライティング・ソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはライティング・ソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・本製品や併用しているIEEE1394機器のアクセス中に、取り外してはいけません。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・取り外しの際にはアンプラグと呼ばれる操作が必要です。下の手順をご参照ください。

取り外しの手順

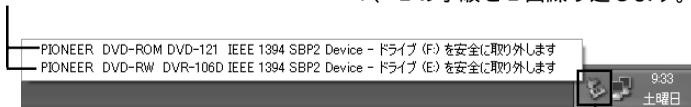
本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに表示された取り外しのアイコン( または ) をクリックして、表示されるメニューから、次ページに記載されたドライブを選択します。ドライブは2つありますので、この手順を2回繰り返してください。(ここで表示される項目の内容は使用OSによって異なります。次ページを参照してください。)

Windows XP の例

2 . この項目をクリック

1、2の手順を2回繰り返します。



1 . このアイコンをクリック

Windows XP の場合

「PIONEER DVD-RW DVR-106D IEEE1394 SBP2 Device- ドライブ (E:) を安全に取り外します」

「PIONEER DVD-ROM DVD-121 IEEE1394 SBP2 Device- ドライブ (F:) を安全に取り外します」

Windows Me の場合

「IEEE1394 CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

「IEEE1394 CD-ROM - ドライブ(F:)の停止」

Windows 2000 の場合

「PIONEER DVD-RW DVR-106D IEEE1394 SBP2 Device- ドライブ (E:) を停止します」

「PIONEER DVD-ROM DVD-121 IEEE1394 SBP2 Device- ドライブ (F:) を停止します」

Point

ポイント

いずれの場合も「E:」、「F:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。OK ボタンをクリックしてください。(このウィンドウは取り外すドライブごとにそれぞれ表示されます)

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

Point

ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS により異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシがでて、自動的に消えるので、特に操作する必要はありません。

IEEE1394 ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。

トラブルシューティング

本製品がパソコン上から認識されない。

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

IEEE1394 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？ また、使用 OS のバージョンに問題はありますか？本製品は Windows 95 や Windows98 ではご使用になれません。

「デバイス名について」(42 ページ)を参照して、本製品のデバイス名が正しく登録されていることを確認してください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

ライティング・ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しましたか？ 本製品は必ずライティング・ソフトウェアを起動する前に接続してください。

ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能は OFF にしてご使用ください。

イジェクトボタンを押してもセットしたメディアが取り出せない。

セットしたメディア内のファイルは開かれていませんか？ Windows 環境では、セットしたメディア内のファイルが開かれている状態ではトレイを排出することはできません。

ビジー表示ランプが点灯していないかをチェックし、点灯していない場合は、セットしているメディア内のファイルを全て終了して一度ケーブルをパソコン本体から外し、本製品の電源を入れなおしてください。それでも状態が改善されない場合は、「メディアのセット / 取り出しについて」内の「メディアが取り出せなくなった場合」(19 ページ)を参照して、トレイを強制排出してください。

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「使用環境について」(26ページ)をご参照ください。

特定のDVD-ROM / CD-ROMをアクセスできない。

そのメディアはMacintosh専用のCD-ROM (HFSフォーマット)ではありませんか？ 本製品でMacintosh専用のCD-ROMはアクセスできません。

そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つDVDビデオではありませんか？ そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生することはできません。

本製品を使用してパソコン上でDVDビデオが再生できない。

パソコン上でDVDビデオを再生するためには、DVDビデオ再生用のソフトウェアが必要です。本製品にはDVDビデオ再生用ソフトウェアは付属しておりません。別途お買い求めください。

その他：ホームページについて

弊社および株式会社ビー・エイチ・エーではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されていますのでご利用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社 ビー・エイチ・エー

ホームページアドレス：<http://www.bha.co.jp/>

デバイス名について

本製品がパソコン側から正常に認識されるとWindowsのデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

OS	項目	登録されるデバイス名
Windows XP	DVD/ CD- ROM ドライブ	PIONEER DVD- ROM DVD- 121 IEEE1394 SBP2 Device PIONEER DVD- RW DVD- 106D IEEE1394 SBP2 Device
	SBP2 IEEE 1394 デバイス	SBP2 準拠 IEEE 1394 SBP2 デバイス SBP2 準拠 IEEE 1394 SBP2 デバイス
Windows Me	CD-ROM	PIONEER DVD- ROM DVD- 121 PIONEER DVD- RW DVD- 106D
	SBP2	SBP2 Compliant IEEE1394 デバイス SBP2 Compliant IEEE1394 デバイス
	記憶装置	IEEE 1394 CD- ROM IEEE 1394 CD- ROM
Windows 2000	DVD/ CD- ROM ドライブ	PIONEER DVD- ROM DVD- 121 IEEE1394 SBP2 Device PIONEER DVD- RW DVD- 106D IEEE1394 SBP2 Device

上のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows Me の場合、「コントロールパネル」「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

MEMO

ハードウェア仕様

機種名		LDU- D401F	
搭載ドライブ		DVD± R/RWドライブ × 1 DVD-ROMドライブ × 1	
書き込み速度 *1	DVD+R	4倍速 / 2.4倍速	
	DVD+RW	2.4倍速	
	DVD-R *2	4倍速 / 2倍速 / 1倍速	
	DVD+RW	2倍速 / 1倍速	
	CD-R *3	16倍速 / 12倍速 / 8倍速 / 4倍速	
	CD-RW *4	10倍速 / 4倍速	
最大読み込み速度	ドライブ	DVD-ROMドライブ	DVD ± R/RW ドライブ
	DVD-ROM	16倍速	12倍速
	DVD+R, DVD+RW DVD-R, DVD-RW	8倍速	6倍速
	CD-ROM, CD-R	40倍速	32倍速
	CD-RW	30倍速	32倍速
	記録方式	DVD+R	Incremental recording 方式 Multi Session 方式
DVD+RW		Random recording 方式	
DVD-R		Disc at Once 方式 Incremental recording 方式 Multi Border 方式	
DVD-RW		Restricted Overwriting	
CD-R, CD-RW		Disc at Once 方式 Track at Once 方式 Session at Once 方式 Packet write 方式	
リージョンコード設定		2	
ローディング方式		トレイ方式	
インターフェース	対応規格	IEEE 1394a- 2000	
	最大転送速度 (理論値)	400 Mbps	
	コネクタ形状	IEEE 1394 コネクタ 6ピン × 2	
設置方法		水平	

- *1 設定速度に対応したメディアをご使用ください。
- *2 DVD-R for Authoringへの書き込みには対応していません。
- *3 デュプリケータモードでは、CD-Rの12倍速は設定できません。
- *4 Ultra Speed CD-RWへの書き込みには対応していません。

環境条件 *5	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz	
消費電力 (定格)		32 W	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		215 × 120 × 248mm	
質量 *6		4.2 kg	

*5 ただし、結露なきこと

*6 本体のみ



<http://www.logitech.co.jp/>